

コンゴ民主共和国はアフリカ中央部にある広大な国で、多くの天然資源に恵まれながらも貧困が大きな問題となっている国です



コンゴ民主共和国基礎情報

- **面積**: 234万平方キロメートル (日本の6.2倍)
- **人口**: 9600万 (このうち46%が15歳未満)
- **首都**: キンシャサ
- **公用語**: フランス語
- **公用語以外の主な言語**: リンガラ語、キコンゴ語、スワヒリ語、ルバ語、など
- **国民一人当たりの年間GDP**: 584ドル (日本の67分の1)
- **人的資本指標世界ランキング**: 174か国中164位
- **主な天然資源**: 石油、天然ガス、金、ダイヤモンド、銅、コルタシなど

北キブ州はコンゴ民主共和国の26ある州の一つで、
国の東部に位置しています



北キブ州基礎情報

- **面積:**5万9000平方キロメートル(関東甲信越地方よりやや小さめ)
- **人口:**約700万人
- **州都:**ゴマ
- **地理的特徴:**
 - 農業に適した豊かな土地
 - ウガンダとルワンダと国境を接している
 - ヴィルンガ国立公園を中心とした多様な生態系の宝庫
 - 首都キンシャサまで飛行機で2時間半

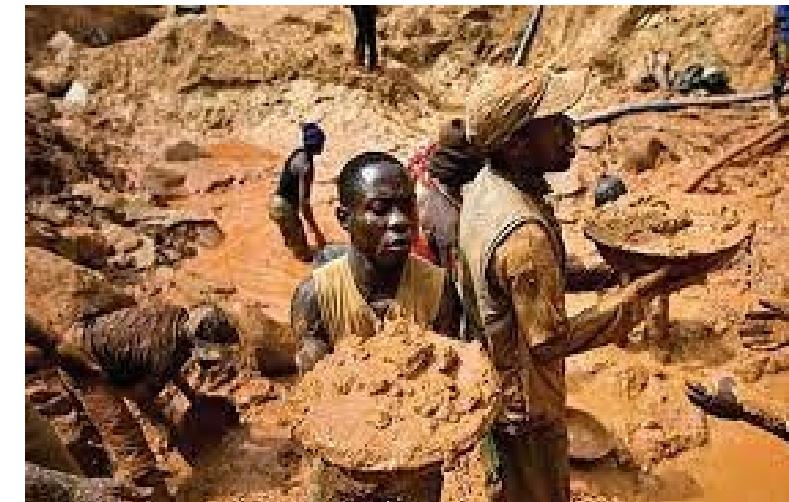
コンゴ東部は、地上は肥沃な土地が広がり、地下には多くの天然資源が眠っている非常に豊かな場所です

地上



- 農業・酪農に適した広大な土地
- 住民を追い出すことで、地下に眠る資源へのアクセスが得やすくなる
- 人口密度の高いルワンダから住民の移住が進んでいるという話も

地下

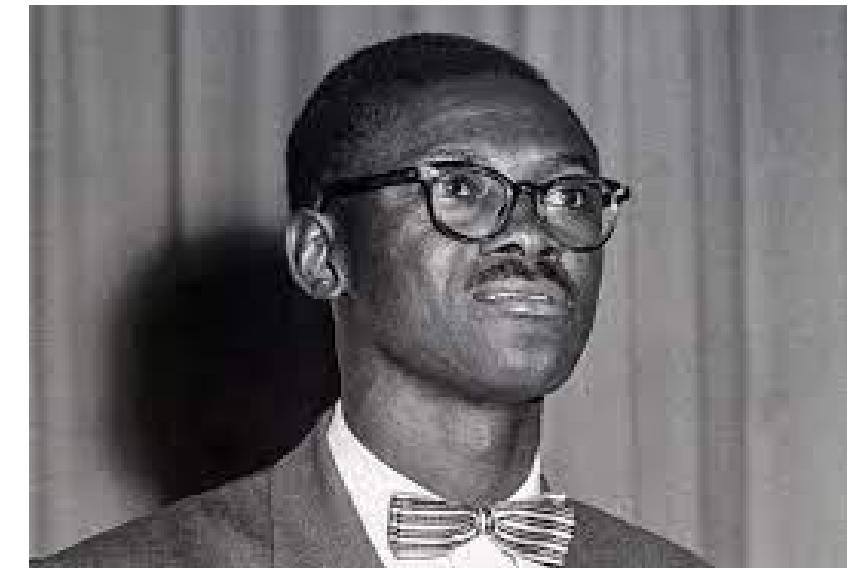
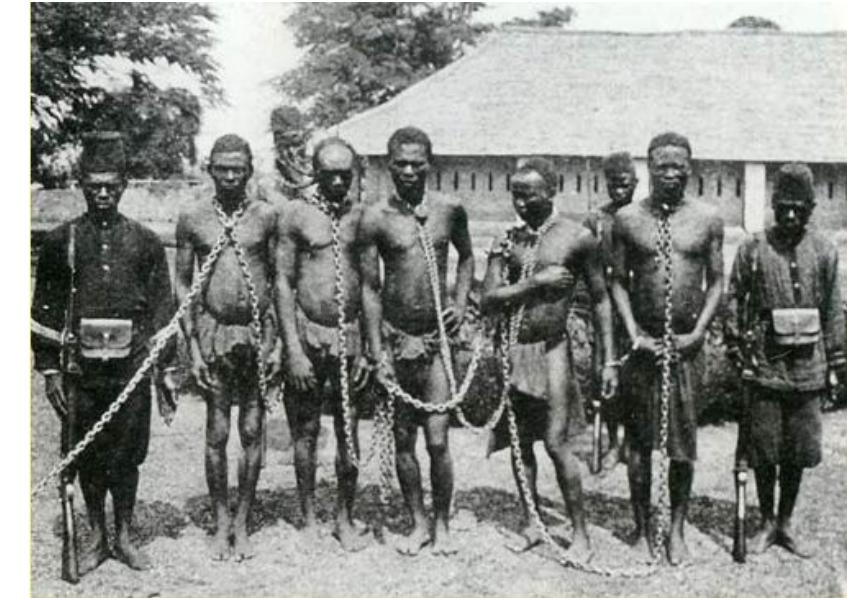


- 多くの天然資源が眠る地下一帯
- 天然資源を搾取したい外国政府や企業がバックに着き、武装勢力を支援

コンゴの社会・政治・経済的課題は、
困難続きの同国近代史なしには語れません。

植民地主義以降のコンゴ史概要

- **植民地時代 (1885 - 1960)**
 - レオポルド二世(ベルギー)による私有地化
 - ベルギー植民地
- **独立 (1960)**
- **独立後の歴史 (1960 - present)**
 - 政治的混乱とルムンバ首相暗殺
 - モブツ大統領の独裁政権
 - カビラ父子の政権: ザイールからコンゴ民主共和国へ
 - 近隣諸国の動乱(1994年のルワンダ大虐殺など)



北キブ州をはじめとするコンゴ民主共和国東部は、30年以上もの間戦火にさらされています

北キブ州における戦争の基礎情報

- ・ 武装勢力の数:100以上
 - M23:事実上ルワンダ政府による侵略勢力
 - ADF:ウガンダから来た武装組織でイスラム国ともつながっている
 - マイマイ:武装化した地元のギャング、など
- ・ その他のアクター
 - コンゴ軍:汚職の蔓延、武器・訓練不足、しばしば軍が住民に危害を加えることも
 - 東欧・仏系民間軍事会社:コンゴ政府に雇われているが、れっきとした国際法違反
 - 国連平和維持軍:25年間コンゴにいるものの主な成果はなく、多くのコンゴ国民から大きな反発を受けている
 - 他国軍:南部アフリカ連合軍、東アフリカ連合軍、ウガンダ軍など

コンゴ東部の戦争は「内戦」ではなく、れっきとした「国際戦争」です

世界最大の人道危機の原因となっているにも関わらず、この戦争に対する国際社会からの注目はほとんどありません

コンゴ東部とウクライナの人道危機の比較

	コンゴ東部	ウクライナ
国内避難民数	約300万	約370万
難民数	約100万	約130万
22年的一般市民の犠牲者数	3544	6655
1996年以来の犠牲者数	約600～1000万	-
人道支援のために一年間で集まった金額(2022)	5700万ドル	1億1700万ドル
国際メディアの注目度	ほぼ皆無	ほぼ毎日報道
国際社会の外交による解決への努力	ほぼ皆無	非常に多い

戦地の真ん中にありヴィルンガ国立公園は、世界で最も生態系が豊かな場所の一つと言われています



ヴィルンガ国立公園基礎情報

- ・ユネスコ「危機に瀕した世界遺産」
- ・1925年設立
 - アフリカ最古の国立公園
 - 世界で2番目に古い国立公園

戦地の真ん中にありヴィルンガ国立公園は、世界で最も生態系が豊かな場所の一つと言われています



戦地の真ん中にありヴィルンガ国立公園は、世界で最も生態系が豊かな場所の一つと言われています



ヴィルンガ国立公園の運営

- ・ コンゴ自然保護局(政府機関)
- ・ ヴィルンガ財団(NGO)

主な財源

- ・ EUやアメリカ政府からの支援
- ・ 個人からの支援など

戦争や貧困などの課題が山積みの場所では、生態系を守るために、非常に幅広い方法をとる必要があります

コンゴ東部の課題

暴力と戦争



生態系への影響

野生動物の減少など

資源の搾取



森林伐採など

貧困



地元住民による生態
系の破壊など

汚職

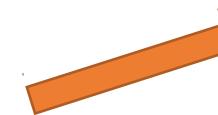


国立公園の存在の危機

ヴィルンガの取り組み



法と秩序の回復



地元の経済発展
への貢献



各種関係者と
の調整



ヴィルンガ国立公園は、様々な課題に直面しています

ヴィルンガ国立公園基礎情報

- ・公園面積の14%が、農地や森林伐採などの被害を受けている
- ・ほとんどの課題が武装勢力・紛争経済と大きくかかわっている
 - 密猟
 - 公園内の農業
 - 違法漁業
 - 森林伐採と炭の生産
 - 武装勢力の勢力争い、など
- ・環境保護以外にも様々な活動を行っている
 - 治安維持・秩序の回復
 - 地域経済開発への寄与

ヴィルンガ国立公園は今、存在そのものが消滅の危機にさらされています



野生動物の密猟



森林伐採と炭の生産

ヴィルンガ国立公園は今、存在そのものが消滅の危機にさらされています



違法漁業



公園内での違法農業

戦争は、環境破壊の最大の原因です



2022年10月の衛星写真



2023年1月の衛星写真

この時は、680ヘクタール(東京ドーム146個分)の森が3カ月で失われました

ヴィルンガ・アライアンスは、4つのアプローチを通して、北キブ州の経済発展に寄与しています

電力供給: 4か所の水力発電所を建設・運営し、コンゴ東部最大の電力会社を経営。



農業: 7500名以上の農家を支援。



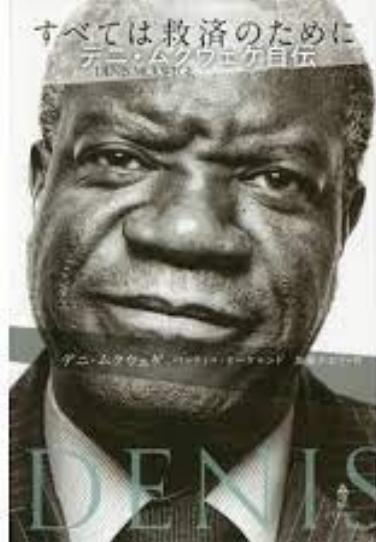
ヴィルンガ・アライアンス



観光: かつて、ゴリラの見学や火山登山ツアーなどを提供。

中小企業支援: 電力を通して生み出された中小企業に、融資と経営者養成講座を提供。

コンゴ東部の戦争をさらに深く理解するためにお勧めの本



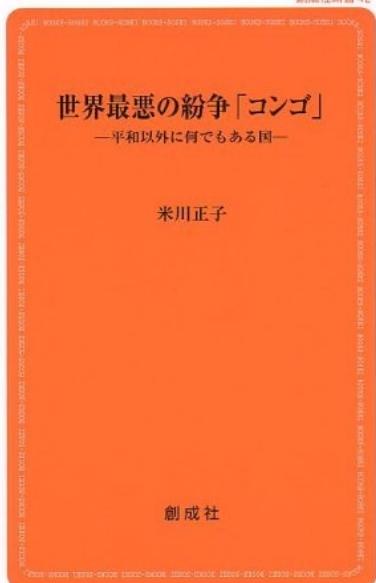
デニ・ムクウェゲ著

「すべては救済のために デニ・ムクウェゲ自伝」

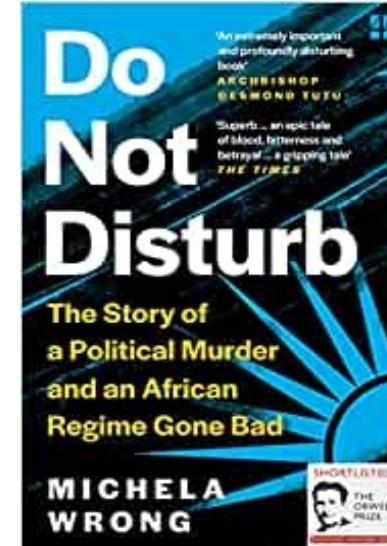
日本語訳あり

米川正子著

「世界最悪の戦争『コンゴ』」



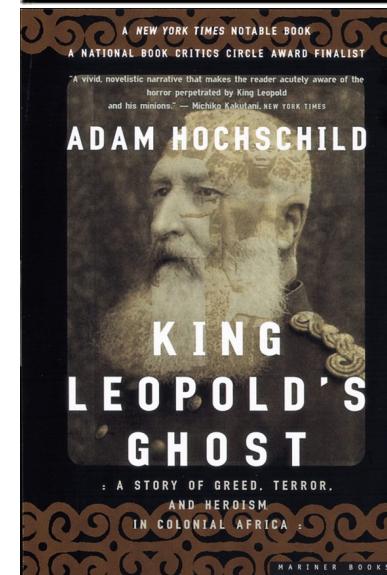
創成社



Michela Wrong著

「Do Not Disturb」

日本語訳なし

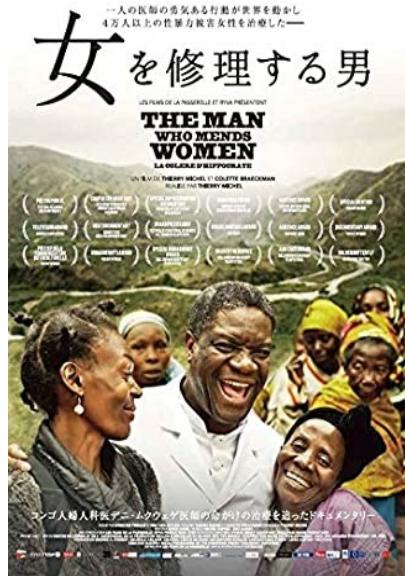


Adam Hochschild著

「King Leopold's Ghost」

日本語訳なし

コンゴ東部の戦争をさらに深く理解するためにお勧めの映画

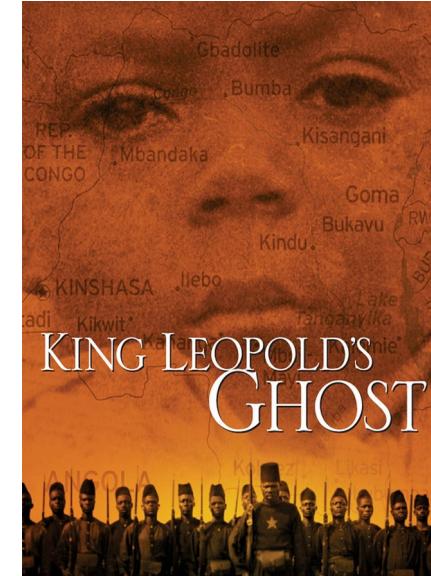


ティエリー・ミシェル監督

「女を修理する男」

日本語訳あり

AmazonでDVDの購入可能



ピッパ・スコット監督

「レオポルド王の幽霊」

日本語訳あり

Amazonプライムで視聴可能



オーランド・フォン・アインジーデル
監督

「ヴィルンガ」

日本語訳あり

ネットフリックスで視聴可能



ティエリー・ミシェル監督

「Empire of silence」

日本語訳の予定